

2011 年度
認知症介護研究・研修
東京センター

年報

序にかえて

2011 年度年報をお届けする。昨年はわが国にとって歴史に残る年になった。過去最大の地震と巨大津波が東北地方から関東地方の太平洋岸を襲い未曾有の災害をもたらされた。1 年以上が経過した現在も多くの人たちが生活の再建に取り組んでいる。最近も仮設住宅での孤独死についての報道があったが、実に多くの課題が私たちに突きつけられている。一朝一夕に解決できる課題ではないが、認知症ケアに関わる関係者として改めて支援について考えてみた。支援を受ける側の心構えと支援する側の課題があげられるが、後者について被災地で認知症ケアに携わっている関係者にヒアリングを実施し貴重な意見をまとめることができた。詳細は報告書をご覧いただきたいが、ヒアリングのための時間を割いてくださった関係者にこの場を借りてお礼を申し上げたい。

もう 1 点は、厚生労働省からこれからの地域包括ケアのあり方が示されたことである。

地域包括ケアを行っていくためには地域におけるネットワークの構築が前提となるが、それに関連するテーマでいくつかの研究が実施された。最近の疫学研究では従来考えられていたよりも認知症の有病率が高い可能性が示され、認知症に関する地域の意識・認識の向上、認知症ケア関係者のスキルの向上が喫緊の課題となる。当センターが取り組むべき最大のテーマである。関係各位のより一層のご理解、ご協力、ご批判をお願いする次第である。



認知症介護研究・研修東京センター
センター長 本間 昭

序にかえて 3

Ⅰ 研究活動

1. 研究活動の概要	8
2. 2011年度の研究事業成果報告	10
1) 認知症地域支援推進員研修における効果的な人材育成のあり方に関する研究	10
2) 高齢者の認知症発症に係る生活習慣と生活改善による認知症予防効果の 調査研究	12
3) 認知症地域支援のモニタリングシステムの確立と自治体での定着に関する 調査研究事業	14
4) 認知症介護実践者等養成研修の平準化に関する検討	16
5) 認知症の本人の自己対処および生活支援に関する研究	19
6) 認知症地域連携マップの作成	21
7) 東日本大震災時の認知症高齢者の行動と介護スタッフの対応に関する実態調査 研究	23
8) 認知症の地域ケアにおけるケアと医療との連携に関する研究	25
9) 認知症フロア環境づくりにPEAPを取り入れ、利用者の居場所づくりの取り組みを 行うことにより得られる利用者の変化に関する研究	27
10) 認知症者の居宅サービス計画書作成過程への参加支援に関する研究	29

Ⅱ 研修活動

- 1. 研修活動の概要 …………… 32
- 2. 認知症介護指導者養成研修事業 …………… 33
 - 1) 2011年度カリキュラム概要 …………… 39
 - 2) 2011年度カリキュラムの評価 …………… 41
 - 3) 認知症介護指導者フォローアップ研修 …………… 42
- 3. 認知症の人のためのケアマネジメント推進事業 …………… 46
- 4. ひもときシートを用いた認知症ケアの気づきを学ぶ研修会 …………… 48

Ⅲ その他の事業

- 1. 2010年度東京センター研究成果報告会開催報告 …………… 50
- 2. 平成23年度東京センター公開講座 …………… 51

Ⅳ スタッフ紹介 …………… 54

Ⅴ 運営部活動報告

- 1. 事業実践記報告 …………… 62
- 2. 2011年度東京センター活動一覧 …………… 64